

宇佐美 里香

10歳の頃(小学5年)から空手を始める。

高校から空手道部のある帝京高校に進学し、高校3年生の時にインターハイで優勝。

その後、国土館大学に進学し、毎日空手の日々を送る。

大学1年生の時に、師匠である井上慶身氏と出会い、世界ジュニア・カデット選手権大会で優勝、その後ナショナルチームに合格する。大学4年生で全日本空手道選手権大会優勝。大学卒業後、鳥取県に移住し師匠の下で世界一を目指す。鳥取県で修行した3年目に世界大会に出場するが3位に終わる。2年後の2012年、自身2回目の世界大会で金メダルを獲得。

翌年2013年に引退。その後は、国土館大学大学院スポーツ・システム研究科に進学し、専任コーチとして空手道部の指導にあたる。また、東京オリンピックに向けKARATEアンバサダーとして空手の普及活動も行い、2020東京オリンピックでは強化委員長としてオリンピックに帯同。

現在は、公益財団法人鳥取県スポーツ協会の特任体育指導員として勤務しながら空手の指導にあたる。

<現在>

勤務先 公益財団法人鳥取県スポーツ協会 特任体育指導員

全日本空手道連盟理事

全日本空手道連盟女性委員会委員

空手道公認六段

<主な戦績>

第21回世界空手道選手権大会 女子形 優勝(2012年)

アジア競技大会 女子形 優勝(2010年)

アジア空手道選手権大会 女子形 3連覇(2009、2011~2012年)

全日本空手道選手権大会 女子形 5回優勝

(2007年、2009~2012年)

国民体育大会 成年女子形 4連覇(2009~2012年)

